

第3回 定例会

代表質問 住宅供給公社等の経営対策責任など質す

平成十八年第三回定例会は、九月五日から二十七日まで二十三日間の会期で開かれました。

この定例会には、知事からは、平成十八年度一般会計補正予算や特別職の職員の退職手当に関する条例及び知事等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例など、また、議員からは、出資法及び貸金業規制法の改正を求める意見書などの議案が提出されました。

代表質問では、公社の経営対策の責任、

常任委員会では、付託議案及び公社等支援に係る県民負担抑制、国民保護計画策定や訓練、本県の医学部入学定員の増員、メロンの重点PRの成果、住宅供給公社等の改革、高校における日本史の必修化などについて議論が行われました。(八面に掲載)

今回の定例会では、予算、条例、人事、意見書、請願など二十八の議案が可決、同意、承認、採択されました。

出資特別委 県出資団体等の調査結果報告書を取りまとめる

出資団体等調査特別委員会では、出資団体や特別会計・企業会計に係る諸問題を踏まえた今後のあり方についての報告書が取りまとめられ、最終日の本会議で委員長から報告されました。(八面に掲載)

代表質問(要旨)

公社の経営対策の責任は 知事及び副知事の給料等の一部を減額

議員(自民) 昨今、「格差拡大」という言葉をよく耳にするようになり、県議会においても「南北問題」が議論されている。このような状況を見れば、茨城県政の原点とも言える「農工商全」の理念を踏まえた県政運営に取り組むべきと考えらるがどうか。

知事 近年、弱者への配慮に欠ける発想をする者が多くなってきたとおり、「農工商全」的な発想は重要と考えている。知事就任以来、常に生活者の視点に立った県政運営を行ってきたところであるが、今後とも「人が輝く元気で住みよいいばらきづくり」を目指して取り組んでいく。

議員 今定例会には、住宅供給公社及び土地開発公社への財政支援策が補正予算として提出されている。巨額の負担をせざるを得なくなった理由や責任の所在等について、県民に十分な説明責任を果たす必要があると考えるがどうか。

知事 今回の対策は、これ以上問題を先送りすることなく、後年度負担を増やさないためにも必要なもので

あり、県議会及び県民の皆様方にご理解を賜りたい。公社の幹部の責任は当然のこと、私及び副知事の給料及び退職手当の一部を減額することにより、指導監督責任を明らかにした。

議員 本県の病院及び診療所などの医療機関数や医師や看護師などの医療従事者数は全国的にも低い水準にあるが、今後、本県の医療体制の整備をどのように進めていくのか。

知事 限られた医療資源の中で、県民誰もが身近な地域で安心して医療が受けられるようにするためには、医療機関相互の機能分担や連携体制の強化が必要であり、関係機関と連携を図りながら、救急医療をはじめとする医療提供体制の一層の充実に努めていく。

議員 漁場環境の悪化、漁獲量の減少、販売価格の低迷、燃油の高騰など、水産業を取り巻く現状を踏まえて、本県漁業の振興に向けてどのように取り組んでいくのか。

知事 本県漁業の厳しい経営環境を踏まえ、新しい「茨城県水産業振興計画」を策定し、組織や経営の強化と人材の育成、水産資源の持続的利用など、五つの基本方向を示したところである。資源管理型漁業や栽培漁業の推進、人工漁礁による計画的な漁場整備、魚価の向上と消費拡大などに取り組む、将来にわたって夢が持てる力強い漁業の構築に努めていく。

議員 県北山間地域、利根川沿岸の猿島・稲敷、鹿島・行方の南部といった県東地域の持つ地域格差、ハンディキャップの解消は県をあげて取り組まなければ困難である。県東地域に対する認識及び今後の対応について伺う。

知事 県東地域では、教育など、分野によっては他県



「農工商全」の理念のもと進められた鹿島開発

一般質問(要旨)

霞ヶ浦の水質浄化は「泳げる霞ヶ浦」を目指す

議員(自民) 第四期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画が満了した。対策の一部は目標値を達したが、結果として水質目標値は達成されなかった。その総括と今後の取り組み姿勢を伺う。

知事 負荷削減につき一層の取り組みが必要と認識している。今後は、「泳げる霞ヶ浦」というビジョンを掲げ、昭和四十年代前半の水質を目指す。現在、五年ごとの水質目標やその達成に向けた施策の検討を行っているところである。

議員 稲敷地域の振興策は、圏央道と霞ヶ浦を有効活用し、交流人口の拡大を図ることが重要である。今後の取り組みを伺う。

企画部長 圏央道の開通に向けた、計画的な検討・準備が必要と考える。都市農村交流のための取り組みや交流施設「湖の駅」の整備に向けた調整を進める。(ほかに、新エネルギー産業の創出、勤労観を養う教育なども質問)



稲敷市から見た霞ヶ浦

●質問者

- 細谷 典幸 (自由民主党)
- 小田木真代 (自由民主党)
- 藤島 正孝 (自由民主党)
- 塚田 規夫 (無所属)
- 高橋 靖 (自由民主党)
- 本澤 徹 (自由民主党)
- 長谷川典子 (自民県政クラブ)
- 井手 義弘 (公明党)
- 飯塚 秋男 (自由民主党)